

混交林誘導整備事業 内訳表

区分	名称	数量	単位	単価	金額	明細表	備考
直接 工事 費	整備	7.23	ha			第1号明細表	
	搬出運搬	15.00	t			第2号明細表	
	計						
諸 経 費	共通仮設費		%				
	現場管理費		%				
	一般管理費		%				
	計						
	販売（差し引き）	15.00	t			第3号明細表	
	設計工事価格						
	消費税相当額	10	%				
	本工事費計						

第1号

明 細 表

整備

名称	規格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
更新	搬出あり	1.17	ha			単価表No.1
環境整備	本数率20%		ha			単価表No.2
環境整備	本数率30%		ha			単価表No.2
環境整備	本数率40%	6.06	ha			単価表No.2
合計		7.23	ha	(0)	0	(0)

第2号

明 細 表

搬出運搬

名称	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
造材		15.00	t	0		単価表No.4
伐採木の集材		15.00	t	0		単価表No.5
仮置き・積込		15.00	t	0		単価表No.6
運搬	運搬距離 10.00	15.00	t	0		単価表No.8
安全管理費		15.00	t	0		単価表No.10
合計		15.00	t	(0)	0	(0)

第3号

明 細 表

販売

名称	規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘要
販売 (株)I・T・O本社工場	未利用材		t			
販売 (株)I・T・O本社工場	一般木材		t			
販売 (株)I・T・O吉野工場または 県森連・木材センター	未利用材		t			
販売 (株)I・T・O吉野工場または 県森連・木材センター	一般木材	15.00	t			
合計		15.00	t			

No.1

単価表

更新（搬出あり）

1ha当たり計上

構造

種別	数量	単位	単価	金額	明細表及び 単価表番号	備考
群状択伐	1.00	ha			単価表No.2	
植栽及び植栽木 の獣害対策	1.00	ha			単価表No.3	
合計	1.00	ha		0		

単価表

群状択伐/間伐

100本当たり計上

構造

令和5年度森林整備保全事業標準歩掛

種別	数量	単位	単価	金額	明細表及び 単価表番号	備考
伐倒費						
特殊作業員	0.462	人				
普通作業員	0.462	人				
小計						
諸雑費 (労務費に対して)		%				
計						
1本当たり		(円/100本)	÷	100(本)	=	円
ha当たり成立本数	1,710	(本)				
ha当たり伐倒本数	1,710 (本) ×	100 (%) =	1,710 (本)			群状択伐 (本数率100%)
ha当たり	1,710 (本) ×	(円/本) =	(円)			
ha当たり伐倒本数	1,710 (本) ×	20 (%) =	342 (本)			間伐 (本数率20%)
ha当たり	342 (本) ×	(円/本) =	(円)			
ha当たり伐倒本数	1,710 (本) ×	30 (%) =	513 (本)			間伐 (本数率30%)
ha当たり	513 (本) ×	(円/本) =	(円)			
ha当たり伐倒本数	1,710 (本) ×	40 (%) =	684 (本)			間伐 (本数率40%)
ha当たり	684 (本) ×	(円/本) =	(円)			

No.3

単価表

植栽及び植栽木の獣害対策

構造

令和5年度森林整備保全事業標準歩掛

種別	数量	単位	単価	金額	明細表及び 単価表番号	備考
植栽						100本当たり計上
特殊作業員	0.11	人				
普通作業員	0.25	人				
苗木 (エノキ、キハダ、ケヤキ)	100.00	本				樹高 H=0.35m
小計						
1本当たり						
獣害対策設置						100本当たり計上
資材	100.00	セット				
普通作業員	1.17	人				
普通作業員	0.41	人				
小計						
1本当たり						
合計				+		= (円/本)
ha当たり植栽本数	500	(本)				
ha当たり	500	(本) ×		(円/本)	=	(円)

No.8

単価表

運搬 (10 t ダンプ運転経費)

(積み込み機械 バックホウ 山積0.45m³ (平積み0.35m³))

積算方法	運搬距離	vt	1 m ³ 当たり	1 t 当たり
5km迄	2.5 km	30.68		
10kmを越え 15km迄	12.5 km	9.64		
20kmを越え 25km迄	22.5 km	5.72		
30kmを越え 35km迄	32.5 km	4.07		
40kmを越え 45km迄	42.5 km	3.15		
50kmを越え 55km迄	52.5 km	2.58		
60kmを越え 65km迄	62.5 km	2.18		
70kmを越え 75km迄	72.5 km	1.89		
80kmを越え 85km迄	82.5 km	1.66		
90kmを越え 95km迄	92.5 km	1.49		

(1m³ = 0.8t)

時間あたり運搬量 (m³/h) $vt=60/Cm \times q \times E$

←P265

q 2t 2.5 m³/回

←P269

4t 5.0 m³/回

←P269

10t 12.5 m³/回

E 0.9

←P268

サイクルタイム (min)

Cm Cm = β × L + α

←P266

β 4.8

←P266

L 運搬距離 (片道) (km)

α	2t	4t	10t
	2	4	10

(1t当たり1分と想定)

時間あたり運転費 (円/h)

←単価表No.9

令和5年度 混交林誘導整備事業 標準単価の考え方

◎標準単価の構成（計画策定費）について

- ・本事業（計画策定）は、入札による発注が可能な積算構成が必要なことから、治山測量委託を参考に、治山林道必携の歩掛を適用する。
- ・治山測量委託は直接測量費、間接測量費、一般管理費等があり、それらの合算値を測量業務価格としている。また、間接測量費と一般管理費等は、合わせて諸経費として直接測量費に諸経費率を乗じて得た額としている。
- ・間接測量費は、動力用水光熱費、その他の費用のこと。
- ・一般管理費等は、当該業務を実施する企業の経費、当該業務を実施する企業を継続的に運営に要する費用である。
- ・労務単価については、県民への公表等を勘案すれば、一般的な単価である公共事業単価（二省単価）を採用するのが妥当。

◎標準単価の構成（整備費・管理費）について

- ・本事業（整備・管理）は、入札による発注が可能な積算構成が必要なことから、治山事業を参考に、治山林道必携の歩掛を適用する。
- ・治山事業には直接工事費と間接工事費があり、間接工事費として共通仮設費と現場管理費がある。それらの合算値に一般管理費等を計上して工事価格としている。
- ・共通仮設費は、機械器具等の運搬に要する費用、工事の準備等に要する費用、品質管理や出来高管理等に要する費用、工事施工上必要な安全対策等に要する費用等のこと。
- ・現場管理費は、現場労働者の労務管理費用、安全訓練等に要する費用、租税公課、各種保険料、現場従業員の給料、諸手当、退職金、法定福利費等の費用、事務用品費等のこと。
- ・一般管理費等は、請負業者等の本店及び支店における業務の処理に要する費用等のこと。
- ・労務単価については、県民への公表等を勘案すれば、一般的な単価である公共事業単価（二省単価）を採用するのが妥当。
- ・群状択伐、間伐、伐採木の集積の単価構成は、標準単価の観点から煩雑さを解消するため、胸高直径15cm・21cm・27cmのそれぞれに適用される歩掛かりの平均値とする。
- ・本事業は経済林志向ではないため、伐採木の選定（選木）の経費は計上しない。
- ・施業放置林は、作業のための移動や歩行に大きな支障があると推測されることから、作業の難易度を「難」とし、当該補正係数で施工歩掛を補正する。

◎伐採前の成立本数について

- ・使用する資料は、林分密度管理図（南近畿・四国地方）を参考。
- ・林分に関して、一般に収量比数 $R_y = 0.80$ を超える森林を施業放置林とみなしており、当事業の性質上、上限である $R_y = 1.00$ の森林を主要な施業対象と捉えるべきであるが、過去の実績を鑑みるに全ての施業放置林が上限に達しているとは言い難い為、施業対象地の平均値として $R_y = 0.90$ を想定し、これを採用する。
- ・自然枯死も勘案したスギ・ヒノキのha当たり成立本数は以下のとおり。

胸高直径	13cm	15cm	17cm	19cm	21cm	23cm	25cm	27cm	29cm
スギ	3,200本	2,700本	2,200本	1,900本	1,700本	1,400本	1,300本	1,200本	1,100本
ヒノキ	3,000本	2,400本	1,900本	1,600本	1,350本	1,150本	1,000本	900本	790本
	}			}			}		
平均胸高直径	15cm			21cm			27cm		
平均本数	2,567本			1,517本			1,048本		
	}								
全平均本数	1,710本								